

平成 25 年度第 4 回研究企画委員会  
議 事 録

1. 日 時：平成 25 年 10 月 23 日（水） 15:30～17:00
2. 場 所：安永川トンネル新設工事 平和・秋場工区 鹿島・藤本 JV 事務所
3. 出席者：(アンダーラインは欠席、\*は委任状提出)  
長田委員長，笠副委員長，阪元幹事，天野委員，池田委員\*，浦越委員，江口委員  
大野委員，佐々木委員，品川委員，田中委員\*，照屋委員，升元委員  
(委任状提出者を含めて過半数以上であり、委員会成立。)

4. 討議資料

- ◆研究企画委員会平成 25 年度第 3 回委員会議事録(案)…………… (25 研企IV資①)
- ◆廃棄物処分における地質環境調査・解析手法に関する研究小委員会第 12 回議事録(案)ほか. (25 研企IV資②-1)
- ◆平成 25 年度第 9 回総務委員会議事録(案)…………… (25 研企IV資③-1)
- ◆平成 25 年度第 7 回理事会議事録(案)…………… (25 研企IV資③-2)
- ◆「震災後の国民のための土木地質学の 29 の課題と提言 (素案)」に関する意見照会…………… (25 研企IV資④)
- ◆岩盤分類小委員会技術書原稿確認結果…………… (回覧のみ)

5. 議 事

5-1. 前回議事録の確認

議事録案について、一部修正のうえ、承認した。

5-2. 研究小委員会活動報告

(1) 廃棄物処分における地質環境調査・解析手法に関する研究小委員会

【報告事項】・・・大野委員

- ・ 第 12 回委員会(平成 25 年 8 月 2 日開催)の議事内容についての報告。
- ・ 話題提供 2 件、地盤工学会の震災報告書の状況、研究小委員会の今後の活動などについての報告。
- ・ 第二期委員会の設立趣意書の説明がなされた。

【審議・決定事項】

- ・ 「最終的な成果に放射性廃棄物の処分を取り込むことは相当難しいのではないか」「設立の背景と目的にある処分場の防災に関する事項が活動内容にない」などの意見が出された。
- ・ 上記以外の言い回しなどに対する意見も踏まえ、研究小委員会において趣意書のさらなる吟味を進めてもらうこととした。なお、各委員からの追加意見があれば、幹事に連絡することとした。
- ・ 次事業年度より活動を開始できる工程で、設立手続きを進めることとした。

5-3. 理事会／常置委員会報告

(1) 総務委員会

【報告事項】・・・笠副委員長

- ・ 平成 25 年度第 9 回総務委員会(平成 25 年 10 月 15 日開催)における議事内容(一部)の報告。
- ・ 2015 年アジアシンポジウム京都開催決定、地質学会とのセッション共催の動き、絶版書籍

の学会ウェブサイト公開についてなどの報告がなされた。

(2) 理事会

【報告事項】・・・長田委員長

- ・平成 25 年度第 7 回理事会(平成 25 年 9 月 20 日開催)における議事内容(一部)の報告。
- ・J-STAGE 掲載論文閲覧、土木地質研究部会「課題と提言」の扱いに関する動きについての報告がなされた。

(3) 研究教育部門会議

- ・品川委員、長田委員長からそれぞれ応用地形研究部会、地下水研究部会の活動状況についての口頭での報告がなされた。

5-4. 岩盤分類技術書の内容確認について

- ・阪元幹事より下記の報告がなされた。
  - 1)内容確認結果については、ほぼ全章集約済み。
  - 2)全体を通して多い意見や、疑義等は以下のとおり。
    - 用語、言い回し、引用文献の書き方など、全体を通して統一すべき。
    - 図表が不鮮明なものが多い。最終印刷においては鮮明さを確保すべき。
    - 不鮮明であったり、作成中と記載された図表の内容確認についてはどうなるのか。
- ・原子力基礎の章に関する扱いは、研究小委員会で意見集約を進めてもらうこととした。
- ・確認結果および意見については、江口委員に電子ファイルで送付することとした。併せて全委員にも参考として送付することとした。
- ・印刷工程に渡す原稿の形や質については、よく確認しておいた方がよいとの意見が出された。
- ・確認結果が提出されていない章については、幹事から担当者に状況を確認することとした。

5-5. その他

- ・委員会に先立ち、安永川トンネル新設工事(平和・秋場工区)の現場見学を行い、市街地でのトンネル掘削技術の最新技術動向に関する情報を収集した。
- ・次回委員会は、平成 25 年 12 月 9 日(月)、学会事務局にて開催することとした。

以 上